

新学長♥新会長 ハッスル対談

地域のため自分のため

人生のリーダーシップ

は自ら取る



第45号

目次

- 南学長一つの祝賀会と対談(1面〜5面)
- キャンパスツアー実施(6面)
- 県立大の看板に(6面)
- 県立大ブランド土佐茶の紹介(6面)
- 基本金についての会(7面)
- 総会報告(7面〜8面)
- リーダー通信(8面)
- 各支部だより(9面〜11面)
- 恩師はいま北川明先生(12面)
- 高知女子大学最後の卒業式と修了式(12面)



2011年8月4日、看護師に贈られる世界的規模の栄誉な章「ナイチンゲール記章」が、南裕子学長に贈られた。日本赤十字社名誉総裁の皇后様から記章を手渡される南裕子学長(港区、日本赤十字社)

日本でいちばん古い歴史を持つ県立の女子大学として、可能な脱皮を重ねてきた高知女子大学が、いよいよ飛翔のときを迎えました。2011年4月1日、組織上は県から独立した公立大学法人となり、共学化もされたのです。

高知女子大学衛生看護学科11回生で、日本の看護界のトップばかりでなく、世界135の国と地域で組織される「国際看護協会」のトップまでも日本人で初めて務めた南裕子教授を、新生の母校のトップにお迎えできたことは、何より誇らしく祝至極！ どんなお慶びの言葉もどこか物足りないほどに、本当に嬉しいことではないでしょうか。

この春の第61回総会で就任した永尾朱美新会長が、同窓生として訊きたいことや伝えたい思いをいっぱい用意し、厳しい学長の日程の合間を縫っていただき実現したのが、今回のハッスル対談です。(2011年8月10日、学長室)



南裕子学長

永尾朱美会長

南裕子学長就任 ナイチンゲール記章受章 祝賀会をしらすぎ会主催で開催

2011年8月6日に高知市の城西館で120人のご列席をいただきました。※ 関連記事は2面に



記念講演中の南裕子学長

「ナイチンゲール記章」というものを初めて見ました！ ちょっと触らせて下さい！



女声合唱団凜による学歌の斉唱



会長就任挨拶「丸60年の8月25日に」

宅見美佐子前会長亡きあと、空席のままになっていたポストです。その器ではないと固辞したかったのですが、諸般の状況を考え、自分なりに決断した次第です。同窓会結成大会が開かれたのは昭和26年8月25日だったそうです。ちょうど丸60年の本日、この挨拶を書くことには感慨深さを覚えます。

もう一点。家政学部生活科学科が三つの科に改編された昭和39年に、家政学部家政学科第1期生として入学し、会長就任期間中に家政学部が廃止されるという因果な巡り合わせにあるという複雑な思いもあります。

当時の同窓会活動への熱情に思いを馳せつつ、母校のために出来ることを探し、会員相互の親睦を楽しく図れる活動を目指し、理事の皆様はじめ多くの会員の皆様にご協力を戴きたいと切に願います。(しらすぎ会第二十二代会長 永尾朱美)

しらすぎ会総会は
5月の第3土曜。従って今回は
2012年5月19日

包む優しさの底にあるもの

永尾会長 ●津野副会長、山重副会長と三人で、学長先生をお訪ねした折、イスラエルの修士課程や米国の博士課程修了、近大姫路大学の学長や国際看護師協会会長とか片仮名もいっぱい堂々たるご経歴に、十幾つ受賞歴で…。余りにも雲の上の人すぎて(笑)、ガチガチに緊張してました。それが、お逢いした途端、すごく包まれる感じで…。なんでそんな風に人を包めるのか不思議で…。(笑)。まず、そのことからお聞きしたかったのです。

それから、それも関係したかも知れませんが…。

永尾会長 ●海外生活のどういった経験が学長先生を丸く(笑) というんですか、人を包むようにさせたんでしょう。

南学長 ●私は昔から「はちきん」で、日本の大和撫子ではなかったんですが…。(笑)。それでも、例えば最初にホストファミリーのお家で過ごしたとき。夕食のお肉の塊をホストのお父さんが分けてくださるんだけど、いっぱい欲しくても、遠慮すべきだと思ってる私は、最初は断わる。でも、こちらの空腹を慮ってもらえなくて、お腹が空いて空いて…。(笑)。

ニューヨークの病院での経験。患者さんに使うシートが足りなかつたので、私は仲良しの友人に気を遣い自分の分を遠慮した。ところが、友人は足りないのはお構いなしで、自分の必要枚数は確保した。それを彼女にブンブン怒ったところ、「裕子は欲しかったらほつきりいばいいじゃない!」といわれた。日本で当たり前のことが、当たり前に通用しない文化の違いを見せつけられた思いでした。そんな経験をいつ

たから、それも関係したかも知れませんが…。

歩み寄るといふのか妥協するといふのか、その辺りのバランス感覚が大事ですね。

利害が複雑に絡み合う国際社会だからこそ、お互いを尊重し合う精神が求められるのです。その合い言葉は、米国のように合理的に考える人々の間には驚きを持って迎えられると聞きました。例えば、感情と理性を分けて表現するのが米国流。しかし、私たち日本人はいくら「感情的」といわれようとも、感情表現と言葉がズレていては信用しないところがあります。米国の人は日本人である私の心情的な表現でアピールできることに驚きました。

世界の合い言葉はハーモニー

永尾会長 ●その経験の広さが、いまのオーラに繋がっているのですね。日本人で初めてという国際看護師協会の会長職も2009年までの4年間、務められたんですよね。

歩み寄るといふのか妥協するといふのか、その辺りのバランス感覚が大事ですね。

南学長 ●国際社会はギクシャクすることがいっぱいあります。だいたい文化が全然違うのですから。会長就任スピーチ、土佐弁英語といわれているのですが(笑)、会員が心の拠り所とする合い言葉を私は「ハーモニー(=和)」と設定しました。

スピーチばかりでなく、大きな総会でも、非難の応酬ではなく、皆の話をゆっくり聴き、了解できるところはどこだろうとじっくり探しました。こんな会の進め方は初めてだといわれ、自分の国に帰ったら真似してみようという話も聞きました。和が大事なのです。考え方が仮に右と左に分かれても、何か共有するものさえ見つけられたら、きつと解決の道があると私は信じています。



国際看護師協会会長時代、アフリカ東部ウガンダで、HIV孤児の家を訪問

就任と受章の祝賀会

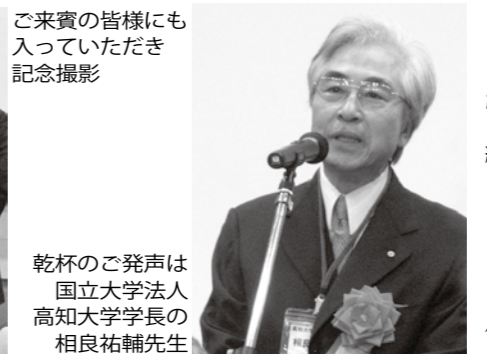
同窓会しらさぎ会の新体制で臨む初めての大きな行事が、120人のご参加をいただいたこの祝賀会となった。準備は時間的な制約があるなか、役員はお互いをフォローしつつ、まるで仕事に取り組みような本気の緊張感のなか、当日を迎えた。内容のギョウと詰まったご祝辞や学長講演、お袋の味彷彿の温かい料理に、在学生に卒業生のアイデアも入ったスッキリ土佐茶、きりりと引き締



学生にとって学長は同時代を生きる「メンター」(※キャリアの発達に直接的・間接的に影響を与える人)なのだ!



しらさぎ同窓生の話をお聴く学長。包む優しさの底にあるものは…?



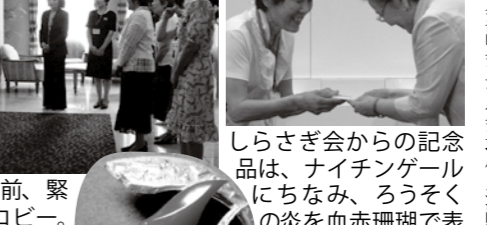
乾杯のご発声は 国立大学法人 高知大学学長の 相良祐輔先生



ご来賓の皆様にも 入っていただき 記念撮影



ご列席の皆様と学長を囲む記念撮影の一コマ。諸先輩方に敬意を払い、会報用にはこの一枚



念願の表贈品は、ナイチンゲールの炎を血赤珊瑚にちなみ、ろうそくで現したブローチ。贈呈は山重副会長、制作は轟田和子理事

高知県立大学の目指すもの

(ホームページを参考に要約しました)
前身の高知女子大学が「平和と文化の発展を支える女性の育成」を掲げて誕生してから62年を経た2011年4月。県立の大学から、高知県公立大学法人の男女共学の大学として、「高知県立大学」は新たに出発しました。
自らが管理運営の責任を担いながら、さらに社会に開かれた大学として、地域の人々に頼りにされる大学を目指します。
①生命と健康に関わる「高度職業人の育成拠点」として、オンリーワンの大学に！隣接する高知医療センターとの連携で、健康科学に関する学際型教育研究を。
②凛とした学びの志を支援し、高い国家資格合格率と就職率へ繋がるように！自律的人間力と主体的行動力に満ちた学生が育つよう。
③個々の学生に深く関わり、ひとり一人の成長をきちんと支援する教育を！模索し悩み発見し、志を見つけながら社会へ飛翔する基礎力と専門知識を。

リーダー論

永尾会長 ●誰もが同じく一日は24時間しか与えられていないはずですが、学長先生の活動の幅の広さといったら…
南学長 ●活動の幅を自分が拡げるといふより、いい仲間をつくることにエネルギーを捧げてきたという気がします。

いま何をなすべきか、目標を共有することは、たいへん大事だと思っています。先生方も事務方も同じで、自分の仕事や立場をどう守るかを越

すが、「そんな機会があるならぜひともやりましょう」ということで、先生方も事務方も正にいま全力でパワーを発揮してくれているのです。先生方も自分たちの職場にもっと誇りを持ちたい。事務方も本当はもっと先生方に協力したい！ そんな雰囲気になっっているんですね。

大学の再出発

永尾会長 ● 新年度が始まって数カ月。従来、大学の動きは外からは見えにくい時期な方も知れませんが、女子大から県立大になり、共学にもなりました。

卒業生のなかには女子大のままの方が良かったと思う人もいるかも知れませんが…。再出発を機にこれからどんな風にいい方向に舵が切られるのか楽しみです。

南学長 ● 共学への再出発は夢もあるし、痛みもある。夢ばかりで出発したとは思っておりません。女子大のままの方が良かったと、最後まで反対という方もおられました。

一方で、共学により、マスコミもどうなつちゅうろうとフオロもしてくださっておりますし、応援して下さる県民の皆さんの声も入ってま

います。時代の流れのなかで、脱皮して、いいところをとっていくしかないのです。まず、教育に活気が出ています。これまで、女子大だからと選んでくださった方もおられました。多くは女子大にあまり拘っておられないようですし、いつてみれば、女子大のままの感覚でいるような人も見受けられます。

流るる雲に夢を託さん

永尾会長 ● 祝賀会の記念講演で学歌のスケールの大きいことをいわれましたよね。それで、私も改めて学歌を見直してみたいです。スケールの大きさに、志の高さも感じました。国文学科1回生の堅田美穂さんの作詞で、作曲は国文9回の西内(旧姓杉本)千賀子さん。以前のしらさぎ会高知県支

高知女子大学学歌

作詞 堅田美穂
作曲 西内(杉本)千賀子 補作 丸山和雄
一、南の海に 黒潮かおり
土佐の山脈 そびえて不壊
この庭に来よ 未来ある友
自由の思想 芽生えし土地に
真理の道 音高くゆけ
いま青春の 夢を託さん
流るる雲に
二、鏡川の水に 燃えたつ緑
清き姿を 映してやまず
この窓に来よ 未来ある友
真理の幸と 生命たえて
平和の鐘を 音高くかけ
いま青春の 理想をくかけ
歴史を創る 泉わかさん



苦勞を見て育った弟は、我が弟ながらけつこうよくやっていると思っておりませんが(笑)。**永尾会長** ● 弟の南守(なむさむね)さんは、障害施設「あじさい園」の施設長をされていますよね。高知県児童相談所の班長時代、とくにダウン症の子どもたちの行き先で心を痛め、結局退職されて、平成7年でしたか、「あじさい園」を立ち上げられたんですね。霞ヶ関にも出没されると聞きますが(笑)。何でもそうでしょうが、とくに社会福祉の分野と政治は切り離せませんよね。ご自分の組織のことだけ考えていても物事は前に進まないということでしょうね。

プライドの生まれる生き方

南学長 ● というより、自分の組織のことだけ考えていたのでは、発想が小さくなりますね。全体のことやグローバルの世界を考えることで、明らかに視野は広がります。それを常に意識することが大事ではないでしょうか。

永尾会長 ● そういう発想のできる姉と弟は、どんなお母様に育てられたんだろうと…。**南学長** ● 母は小さいときに自分の母親を亡くし、三人兄弟だったのですが、他人様の家で育ったと…。だから、ずっと

らと選んでくださった方もおられました。多くは女子大にあまり拘っておられないようですし、いつてみれば、女子大のままの感覚でいるような人も見受けられます。

傾向は確かにあると思います。ただ、しらさぎの卒業生についていえば、地域でも職場でもじつにエネルギーに頑張っておられる話はよく聞きます。そういった地域への貢献という点ではいかがですか。

地域貢献

南学長 ● 大学の地域への貢献が見えにくいということは、これまでであったかも知れません。先生方が何をされているのか分からないというような話を聞いたこともあります。

リーダーシップ

南学長 ● 正にその学歌にあるような校風がもととあつたのです。大学で女の子らしくなさい！なんていわれた記憶は一度もありません(笑)。

今後、警戒すべきは男子学生が入ることによって、従来は当たり前だった女子学生がリーダーシップを取ること、女子学生自身が避けるようになる恐れがあるということでしょうね。自分の人生へのリーダーシップは他の誰でもない自分自身が取らなといけませんから。**永尾会長** ● 学校の役員でも地域の例えば町内会でも、男性がリーダーシップを取るとい

仕組みをつくりたいのです。産官学連携が学術的でないと思われる先生方がいらつしやるかも知れません。しかし、学術論文に書けることだけが大学人に求められている研究ではありません。市民の生活に関わることでできる大学人の幸せがあると思うのです。教育研究者として知識の布教をするばかりではなく、専門の分野で具体的に地域と関わる。そういうことで、県立大学のレベルアップも図れると思うのです。お茶の「ちやらら」の例もある通りです。

への期待

永尾会長 ● そういう意味で、しらさぎ会にはどんなことが期待されていますか。**南学長** ● しらさぎ会の皆さんのようなサポーターも大歓迎です。批判や懸念も含めてです。一緒になって仕事があ

しらすぎ会

奥様だったのかな、看護婦さんと思っていたのだけどその方に、「よう頑張ろう。ここは誰も聞いてないから泣いたっていいんだよ」といつてもらったんですね。その、人の気持ちに寄り添えるというのか、その人との出会いが看護師になった原点だと思っています。**永尾会長** ● 感動的なお話が続きますが、趣味についても少し。温泉の話は有名ですよね(笑)。肌をさらす文化のない外国人とでも一緒に温泉に浸かれるとか(笑)。腹を割って話す土台を作られるということでしょうか(笑)。私の場合はセッセと家庭菜園に精出して、手作りにこだわっています。**南学長** ● 週に一度はオフを心がけ、身体を休めるために家でポ〜ツとするようにしています。オフに余計なことを考えなくて済むように韓流ドラマを観ることもありますね。**永尾会長** ● あと料理とか、パッツとそれそうですね(笑)。**南学長** ● とんでもない。高知は食材がとてつもないので気に入ってますが、九十を過ぎた母に「あなたも料理ができるのね〜」なんていわれてしま娘ですからねえ。ちよつと想像してみてください(笑)。**永尾会長** ● アツという間の2時間、きょうは有難うございました。

むろん私は昔から頑固だし、いごつそうだし、母の方も私を言い負かすのは難しかったということなのかも知れませんが(笑)。**永尾会長** ● お母様は働いていらしたんでしょう？**南学長** ● 洋裁をしたあと、小学校に用務員として勤めていました。母は人間の尊厳を大事にする人だっと思っております。先生方が働きやすいように下働きをするわけですが、人間として理不尽なことは許せない。そういうことがあると校長先生にだって向かっていました。また、自分の仕事にプライドを持っていることがよく分かります。そういう母の姿を見るのは嬉しかったです。アルミのやかんにお茶を沸かすのですが、そのやかんが眩しいくらいにいつもピカピカでした。没頭して磨いている姿が印象に残っています。その母の姿が、いま自分が仕事をしている原点なのかも知れません。**永尾会長** ● 学長先生や弟さんのお仕事の視点が透けて見えるような気が致します。私の母は独立心とは無縁の、父に頼りつ放しという善くも悪くも内向きなんです(笑)。**南学長** ● 年を取ると、だんだん自分でできることが減って

くるのですが、その機能低下をジタバタするのはなくどうやって受け入れていくのか。いまでも母はそういう自分と闘っているのかも知れません。**永尾会長** ● 介護の話が出ました。ところで、どうして高知女子大の看護学科に進まれたんですか？**南学長** ● 高校時代、自分の職業選択について考えたとき。生徒会活動やなんかで大人と関わることも多かったのですが、どこかでそんな大人を信用できなくなつたところもあつて…。で、思春期に人間が解る仕事に就きたいと思つたのです。それとね、これはもつと幼い頃の経験なんです。母が炊いてくれていたおせんざいのお鍋を騒いでひっくり返してしまい、大やけどを負ったんです。苦勞をかけたくないの、治療費だつて安くない。母に、もうそれ以上の苦勞だけはかけたくなかつた。だから毎日包帯を替えてもらうために通つた近所の病院でも、ぜつたい泣かなかつた。でも、ホントは包帯を替えてもらうのつてすごく痛かつた。だから、泣きそうになるのをいつも必死でこらえていたのね。病院には母が付き添つてくれていました。あるとき、たまに母がいないくて、院長先生の



基本金積み立ての目的を知るための会を歴代の会長をお招きして開催

基本金について意見を聞く会開催

2010年11月19日(金)に永国寺キャンパスで

歴代のしらさぎ会会長6人に集まっていただき、基本金についてお話を聞かせていただいた。「そもそも基本金は何のために積み立てているのか? しらさぎ会館建設が目的なのか?」の疑問に対し、「なんぞごとが起ったとき、資金がないと困るとの考えより積み立て始めたもので、しらさぎ会館を建てるのが目的ではない」と、基本金を積み立て始めた当時にしらさぎ会の役員をされていた方々よりお話があった。

平成22年度活動報告
彼末理事が資料に沿って説明。日。永国寺キャンパスで37名出席。
②企画…池キャンパスツアー実施

- 会次第**
1. 開会の言葉
 2. 名誉会長挨拶
 3. 会長代理挨拶
 4. 議長選出
 5. 議長報告
 6. 報告事項
 - (1) 平成22年度活動報告
 - (2) 平成22年度会計報告
 - (3) 平成22年度会計監査報告
 - (4) 平成23年度活動計画案
 - (5) 平成23年度予算案
 - (6) 会則の改正
 - (7) 役員改選
 - (8) その他
 7. 閉会の言葉
 8. 意見交換会

平成23年度総会報告

13時~16時15分
永国寺キャンパス
管理棟2階会議室



38名の参加を得、粛々と進められた23年総会

③会報…第44号(8800部を平成22年7月31日発行)。
④会員の管理…原簿の整理、新入会員入力。平成23年4月末日現在会員総数1万102名(9面参照)。
⑤支部①支部長会の開催は平成22年5月15日の総会と同日に。出席者は支部11名、本部12名。
⑥支部総会開催の詳細は9面。
⑦学生支援①奨学金貸与。平成22年度50万円2名に(うち1名は紫苑会寄付金)②合同企業説明

平成23年度活動予定
彼末理事が資料に沿って説明。日。永国寺キャンパス。②理事長会。見直し。編集委員会設置。③「会報しらさぎ第45号」発行予定。
④会員の管理…原簿の整理、他。
⑤支部①支部会員数は9面に掲載。②23年度総会開催予定支部は

⑦その他①「基本金について意見を聞く会」の開催(上記参照)。
②平成23年3月22日卒業式に林会長代理出席。卒業生259名に「高知女子大学開学60周年しらさぎ会記念誌」と証を贈呈。③4月10日、入学式に林会長代理出席。新入生328名に「校章」を贈呈。
平成22年度会計報告
坂本ひとみ理事より資料に沿って報告がなされた。西岡道子監査より監査報告。質疑なし。拍手をもって承認された。(平成22年4月1日~翌3月31日の会計報告は次面参照ください)。

東日本大震災関連
同窓生の情報を寄せて下さい。●南裕子学長にナイチンゲール記章が2011年8月4日、贈られました(1面参照)。
●田村満智子さん(しらす会会長、昭和34・35・44・45)22年11月13日に大原千幸さん(文化学部7回生、天川中学校講師)。9月3日、奈良県を襲った台風12号による豪雨災害で亡くなりました。



中山喜代子先生

リーダー通信

●中山喜代子先生は、2011年6月18日付、春の叙勲で、「瑞宝中綬章」を受章されました。



【本部】池キャンパス ☎(088) 847-8700
〒781-8515 高知市池 2751-1 ▲上
永国寺キャンパス ☎(088) 873-2156
〒780-8515 高知市永国寺町 5-15

しらさぎ会総会は5月の第3土曜。従って次回は2012年5月19日

大学祭
2011年10月22日と23日、池キャンパスで。ぜひ寄ってください

生活デザイン学科3回生商品化
土佐茶 CHARARA
応援 頼みます



▲見えやすい地域貢献のひとつ、学生と先輩のコラボ「高知県立大ブランド煎茶 CHARARA ちゃらら」は、南学長祝賀会でも会場の外で販売。皆様にどっさり買っていただいた。万歳91個!

「土佐のいい物・おいしい物発見コンクール」で260品
目次準グランプリに当たる「発見賞」受賞



▲高知中央公園横の土佐せれくとショップ「てんこす」で8月8日の試飲販売。最高気温は32℃、せめて涼をお届けしたいと浴衣姿で奮闘する生活デザイン学科の学生たち。水出し土佐茶をふるまい、初めはやや緊張したもの、お客さんの「おいしいねえ〜!」の声に安心したのか、商品PRは舌好調。テレビ取材では「おいしい土佐茶があるのに高知県民に知られていないのは残念!」と堂々力説。ニュースの司会者も関心しきり!!

2010年2月に全館落成の運びとなった池キャンパスを見学するしらさぎ会ツアーが企画されました。学生会館の続き間で、炉のある和室を利用していただき、ツアー参加の皆さまに薄茶を差し上げました。お床には裏千家坐忘齋お家元の「更上一層楼」



主催：高知女子大学同窓会しらさぎ会

しらさぎ会寄贈の池キャンパス開学記念「愛の天使」像のそばで、参加者記念撮影



のお軸がかかり、秋の趣向をとり合わせた道具組となりました。和室は続き間と別にもあり、キッチンやユニットバスも常備されていました。宿泊も可能で、青春の一時を夜通し語り合いつながりながら過ごす後輩たちのことにも思いも馳せながら、堀内和美理事の亭主のお席の点

前をさせていただきました。また他の理事の皆さんや茶道部の現役学生さん、卒業生にもお手伝いをいただきました。真新しい畳に、高知女子大学で学んだ幅広い年代の方々が一座建立したひとは正に「一期一会」。子育て世代の方も、新しいキャンパスを有した母校をこの機会に見学したいと関心をもち、未来の高知県立大学の学生となる



お点前中の西谷さんと、左に亭主を務める堀内和美理事

3月31日、今日で高知女子大学の名称ともお別れか?と感慨にふけりながら、(永国寺キャンパスの)職場に向かって正門玄関を通り抜けました。そこには62年間、学生の登下

校を見守ってきた高知女子大学の看板がいつもと変わらず掲げられていました。ふと思いつき、川口順子先生と学生課に問い合わせしてみました。「あの高知女子大学の看板をしらさぎ会に、記念としていただけないでしょうか?」保管場所など思案しながら回答を待っていると「新しい看板を上にかぶせるので差し上げることではできません」とのことでした。午後、工事の方が正門にいらしたので急いでカメラを手にかけつけました。それからはあつという間の出来事でした。(家政学科卒、篠原宏美)

ドキュメント 看板が替わりました
「高知女子大学」は昭和24年(創立記念日は4月21日)以来62年間、この看板を掲げてきた。2011年3月31日13時
「さあいよいよ新しいやつをかぶせるよ〜!!」
3月31日の13時46分、新看板設置終了。案外あつなく瞬間に終わってしまったあ〜

徳島支部

見晴らし抜群、美人にスマートに



隔年の同窓会は2010年11月6日に、徳島大学病院の11階レストラン「ウエルカ」で開催しました。40名の皆様にご参加戴き、本部からは坂本美和理事をお招きし、たいへん楽しいお話と、現在の女子大の様子も写真と資料でご紹介戴き、笑顔にまつまれた会となりました。会場も見晴らしが抜群で、いつもとは違った料理も提供され、おかげで大好評でした。

坂本理事には写真も撮影して戴き、「いつもに増して美人に！よりスマートに！！」撮れていると大喜びされました。皆さん、いかがですか？ それでも苦情のある方は(笑) 撮影者まで、どうぞ！ (支部長 川西千恵美)

九州支部

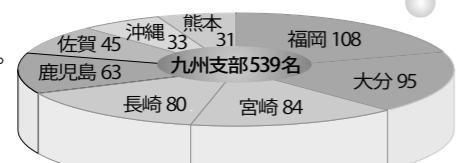
色々話題があります太宰府で

前回、佐賀で開催したときに見学した七面草やムツゴロウが懐かしく思い出されます。今年は福岡が担当で次のように決定です。

●平成23年11月27日(日) 11時30分～「梅の花 太宰府別荘自然庵(豆腐と湯葉の懐石)」福岡県太宰府市太宰府天満宮裏。西鉄太宰府駅から徒歩8分。近くに紅葉のきれいな光明禅寺や九州国立博物館があります。会費 6,000円 詳しい案内を発送しますので、たくさんのお申し込みをお願いします。

九州地区の会員は現在539名で、下のグラフの通りです。大分、宮崎、長崎の会員も増えているので今後開催できないか検討しましょう。母校も男女共学になり、しらさぎ総会も代議員制になりました。色々話題がありますので一緒にお話しましょう。

今回のお世話は、横田桂子さん(看)です。連絡、問い合わせは、092-936-1167まで。(支部長 宮川麗子)



連絡先のお知らせです。

- 事務局 (Fax-mailは常時)
- ☎と Fax 088 (847) 5606
- 事務局員の勤務は、木・金 10時～16時です。
- しらさぎ会のホームページは、u-kochi.ac.jp/~sirasagi/
- しらさぎ会のmailは、sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp

香川支部

ゼッタイ来てください！

2年に一度、しらさぎ会香川支部では総会を開催しております。今年は支部総会を開催する年です。昨秋、開催した支部役員会において、日時、場所等を下記の通り決定しておりますので、お知らせいたします。

日時 平成23年11月13日(日)
総会 10時30分～12時
懇親会 12時～14時 (会費3,000円)
支部会費 (平成21.22年度) 1,000円
場所 高松国際ホテル
 (高松市木太町 2191-1 ☎ 087-831-7220)

香川支部会員の方々には往復はがきで出欠をお尋ねさせていただきます。お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようよろしくお願い申し上げます。(香川支部長 原田佳江)

愛媛支部

2011年6月26日開催。しらさぎ会愛媛の集い



思い出に残る一日

しまなみ海道の橋の見えるロケーションの良い磯料理「大浜」で本年の「しらさぎ会愛媛の集い」は行われました。高知より生活デザイン学科の川口順子先生をお招きし新鮮な磯料理をいただきました。出てきたカニは高知産で、驚きました。

食事の後、近くの大浜漁港から来島海峡潮流体験船に乗りました。造船所を海から見学、そのあと島々を回り、うず潮など見学しました。橋を下から見上げるのはまたその大きさに圧倒される体験でした。船は最高60Km/hで、波しぶきをあげながら港に帰りました。

上陸する前には生け簀に釣り釣りをしました。初めての方がほとんどで、サバ、タイ、アジ、イシダイなど釣果をお土産に持ち帰りました。とても楽しい思い出に残る一日となりました。(支部長 門田洋子/幹事 近松昭子 土岐佳子)

●退職(平成23・3・31) 高知女子大学 学長兼高知短期大学長 山根洋右。文部科学省 北川明、同教授 高岡弘幸、同教授 松本茂章、同准教授 ステファニー・ホートン。生活科学部 教授 松本由香、看護学部 教授 富川順子、同助教 関正節、健康栄養学部 准教授 清水扶美。●採用 法人(平成23・4・1) 高知県公立大学 学長 南裕子、高知県公立大学 学長 野嶋佐由美、萩沼一男、関根猪一郎。

人事消息 (敬称略)

●採用 高知県立大学(平成23・4・1) 文化学部 准教授 鈴木康郎、文化学部 講師 飯高伸五、看護学部 教授 藤田冬子、同准教授 内川洋子、同助教 島山卓也、同助教 榎本香、同助教 福井早苗、同助教 芝崎恵、同助教 石井歩、同助教 由美子、同助教 辻京子、社会福祉学部 教授 丸岡利則、同講師 福岡隆康、同助教 鈴木裕介、同助教 稲垣佳代、同助教 田中真希、同助教 橋本力、同助教 加藤由衣、健康栄養学部 助教 田中守。●昇任(平成23・4・1) 高知県立大学 副学長 荻沼一男、同副学長 野嶋佐由美、文化学部 准教授 吉川孝、看護学部 准教授 瓜生浩子、社会福祉学部 教授 長澤紀美子、准教授 鈴木孝典、講師 新藤すえ。

京阪神支部

錦秋の京都で逢いましょう

2010年11月6日、帝国ホテル大阪にて

2年に一度の総会が昨年11月に開かれました。次の当番は「英文科」とのこと



で、その時の英文科は、斎藤さんと私の2人の参加でした。同じテーブルだった理学科出身の小山さんや高橋さんにもお手伝いいただくこととなり、来年の総会に向けて準備を進めております。「2012年11月10日にホテルグランビア京都」で開催の予定としておりますので、ぜひ今から来秋のご予定に組み入れていただき、多数ご参加いただければ幸いです。(支部長 石井スミ子)

広島支部

今回もあつという間にお開きに

2010年10月24日(日)、君田温泉森の泉で

昨年の広島支部会は中国地方のほぼ中央部、三次市の「君田温泉森の泉」で開催しました。昼食後、日々の活動や海外旅行の話などで盛り上がり、今回もあつという間にお開きの時間！ その後は、温泉を楽しむひとと、隣接する「はらみちを ※ 美術館」を訪れる人に分かれ、秋の一日、のどかなひと時を過ごしました。

次回(来年)は、東広島市で開催します。※はらみちをさんは、お母さんのやさしさ、ふるさとのぬくもりをテーマとした詩画で人気を集める、広島市在住の画家。(広島県支部長 田中めぐみ)



若い世代にも関心をもって欲しい

今秋は「おいでませ山口国体」が開かれ、全国よりアスリートやその関係者等が多数集い、賑やかになります。現在、しらさぎ会山口支部の会員は61名ですが、3分の2強が平成の卒業生です。今年は2年に一度の同窓会の年に当たり、11月13日(日) 山口市菜香亭において11時より第2回しらさぎ会山口支部同窓会を開催します。前回の参加者は12名でした。今回は前回以上の参加を期待していますが、仕事に子育てにと奮闘中の彼

山口支部

しらさぎ会事務局 e-mail:sirasagi@cc.kochi-wu.ac.jp 電話 fax (088) 875-7107 木・金の10時～16時

関東支部

楽しみな初めての試みも！

第16回しらさぎ会関東支部総会・懇親会が平成23年11月13日(日) 12時から15時まで、アルカディア市ヶ谷・私学会館(東京都千代田区九段北4-2-25)で開催されます。

文化学部長の清原泰治先生と、しらさぎ会本部からは支部担当の山崎美恵子理事がご出席下さいます。共学化した大学の様子などのお話が伺えると思います。今回初めての試みとして、11時から12時まで、岡崎清子さんによる講演会「対話～豊かに生きるために～」(仮題)も行います。どうぞ皆様多数の方々の、ご出席をお待ちしております。

なお、東日本大震災や原発事故による、会員の皆様のご様子もぜひお知らせいただきたいと思います。(副支部長 山崎和子)

東海支部

母校の脱皮に合わせ脱皮したい

今回は2011,11,12(土) 12時～ANAクラウンプラザH グランコート名古屋3階

年に一回の懇親会は半ば固定化し輪が広がらないのが悩みです。なぜか？ 東海支部は広範囲であり、遠く長野、新潟県からの出席は難しい。会に魅力がない？ 「近況を報告し合うだけではねえ」という声もあった。確かに、日々生きていくうえで何らかの糧となるような講演、研修、体験があると良いと思う。母校が時代の変化と共に脱皮していくのと同じように、同窓会活動も今後の方向性を視野に入れ、内容の検討を迫られていると思う。

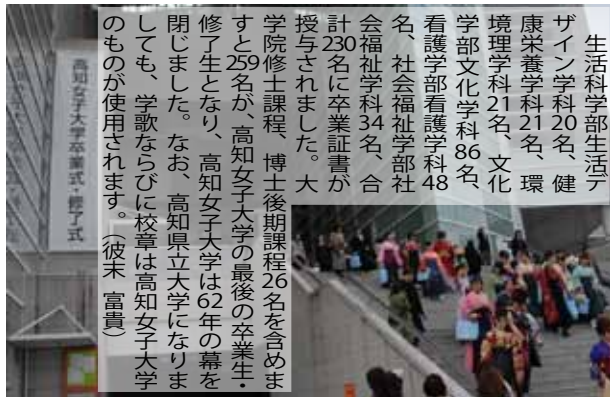
ぜひ、ご意見ください。私はアットホームな雰囲気、気持ちの和み、生きていく上で大切なことを学べたと思っています。(今年度幹事 西尾佳代子/家政科4回)



高知女子大学と

2011年
3月22日(火)

高知市文化プラザかるぼーと大ホールで



生活科学部生活デザイン学科20名、健康栄養学科21名、環境理学科21名、文化学部文化学科86名、看護学部看護学科48名、社会福祉学部社会福祉学科34名、合計230名に卒業証書が授与されました。大学院修士課程、博士後期課程26名を含め、計259名が、高知女子大学の最後の卒業生として、高知女子大学を閉じました。なお、高知県立大学になりませんが、学歌ならびに校章は高知女子大学のものが使用されます。(彼末 富真)

最後の卒業式と修了式

シリーズ 恩師はいま

じんかん
人間、到る所青山ありなので、
じっくりかまえています。

前 文化学部 教授 北川 明

►いの町天王への帰省中、東京から里帰り中の初孫・晃平ちゃんと夏祭り会場でご機嫌の明じいちゃん



ご無沙汰いたしております。皆様、恙なくお暮らしてでしょうか。残暑お見舞い申し上げます。高知女子大学を定年退職してから、5ヵ月が経過しようとしています。現在は、お陰をもちまして、徳島文理大学人間生活学部で教壇に立っております。

高知女子大学では、文化学部(旧文学部)に15年間、そして同保育短期大学部に14年間お世話になり、感謝申し上げます。計29年間、県立大学に奉職したことになります。主に、教職課程のお世話をしてまいりました。十分お役に立てたか覚束ないのですが、退職辞令交付式では尾崎知事より恐らく生まれて初めて(?)の感謝状なる素晴らしいものをいただいて喜んでいただるところでございます。

また、先だつての高知県立大学名誉教授の授与式では、南裕子理事長兼学長先生から称号をいただき、かつその際の南学長先生の「高知県のために、高知県立大学のためにご尽力ください」という旨のお言葉を頂戴し、感激したところです。

高知県のいの町天王ニュータウンには、ささやかながら自宅を構えて終の棲家は用意しています。「人間、到る所青山あり(高知県佐川町には青山文庫もある、笑)」なのですが、高知の美しき山河に囲まれることになるでしょう。文化学部の広報紙に書いたことがあるのですが、「山の幸、海の幸、人の幸」と書いて高知(土佐)を表敬したものでした。いま、徳島市で生活を妻としていますが、この想いに駆られることしばしばで、それは私だけでなく伴侶もそうなのです。

今は、千年に一度であったと云われる東日本大震災と原発の人災で、学者・研究者の端くれとして、「scientific dishonest(科学的不誠実)」では済まない科学者の責任を痛感しています。

皆様には幸多かれと祈念して(かくひつ) 欄筆とさせていただきます。

通信

総会でも話題になった広報刷新の一端に、理事通信の欄を設けました。今号は広報担当理事です。

■7年の教職のあと、ジュエリーのデザインや制作を仕事にしていますので、このたびの南学長のご慶事にお祝いのプロローグ(2面に写真)を創らせていただきました。ナイチンゲールがクリミア戦争の際、傷病兵をろうそくの灯で看病した。だからナイチンゲールに因むには、ろうそくの炎が重要とお教をいただき、テーマを決定。炎を表現した土佐の血(赤珊瑚は世界に冠たるものなので、受章のお祝いに相応しいもの)に少しは近づけたかなと思えます。

文科出身なので、今後は広報に少しでも役立てるよう努力する所存です。(鶴田和子)

■「CHARARA」は高知女子大学(現：県立大学)生活デザイン学科の学生と教授が高知の農山村を見て、感じ味わいながら土佐茶の素晴らしさに出会い、高知県茶業試験場・全農こうち等と協力して創りあげた千個限定のお茶のことです。土佐の山間のお茶は本当に大自然からエネルギーを吸収できるような美味しさ。ふくよかさがあります。もつと早くこのような大学と地域の連携がサポートとしてあつたならば、惜しくなりません。それどころか生活デザイン学科そのものが、この学生たちを最後に廃科になることが決まっています。失つて初めてその価値に気づくなんて悲しいですが、そこは、同窓生の皆さん! 今度は私達が生活デザイン学科の「CHARARA」をサポートしませんか?(梶原和歌)

■会報編集委員さんが着任してくださいました。敬称略、順不同でご紹介させていただきます。澤田智恵(国文S35卒)、坂本正子(生活科S33卒)、竹内久恵(生活科S38卒)、後藤圭子(家政H6卒)、谷本和香奈(看護H21卒)、大塚知子(看護H21卒)、上村絵理奈(社会福祉H19卒)。

■高知女子大の前身「女専」の校歌でも「世界に秘められし真理をば、探し尋めんと意気高く、ひたすら磨く理智と技術」(中略後略)。女性としての生き方云々より、人間性を高め知性を磨く、と高らかに謳っていることを知り、「筋金入りの伝統かあ」と妙に納得しました。(坂本美和)

通信